

夢花工房での音楽活動



平成29年度も、毎週月・火曜日に夢花工房で、音楽活動をしてきました。パーカッション『ドリームフラワーズ』は、作業班ごとに3つに分かれて活動しています。どのグループもオリジナルのカラーがあり、みなさんこの時間をとても楽しみに来て下さっています。

年2回の本番【あゆまつりと南生田小学校とのジョイントコンサート】を目標に日々活動しています。今年度は、更に講師の加来亨さんと、シンガーソングライターのうすいまさとさんの【いいところ応援ライブ】にも出演しました。少人数での参加でしたが、ステージを終えた直後の参加したメンバーのキラキラした目の輝き、高揚感はとても印象的で、やりきった達成感や満足感、言葉にできない充実した気持ちがあったように感じました。夢花のスタッフからも「ライブ以降、自信がついて、前より積極的になったと感じる」という嬉しい感想をいただきました。

隔週火曜日のデイリー夢花の音楽活動も3年目となり、新しい利用者さんも増えてさらにパワーアップし続けています。

お互いに誘い合ってペアダンスをしたり、普段の会話の中から「好きなもの」を見つけてさりげなく取り入れたり、楽器を配ったり集めたりする役割をお願いしたり、とプログラムは毎日関わっているスタッフと一緒に考え、工夫を重ねてきました。

普段の生活の中では遠慮がちで失敗することが苦手な方も、音楽の場が「なんでも大丈夫！やってみよう！」という表現の場になるよう、今後も一緒に丁寧に取り組んでいこうと思います。

(吉野紀子)



学校支援



小学校や中学の支援級を訪問しての「学校支援」を継続的に行なっています。昨年度も多く为学校から依頼を受け、音楽療法プログラムの実践と、終了後の先生方との振り返りを行いました。

実践では、楽しくも配慮がある音楽の時間の中で、思い切り身体を使って表現することを体験したり、楽器活動に集中して取り組み、友だちと協力して演奏を作り上げる経験をしたりしています。

終了後の先生方との振り返りでは、療育的な対応や音楽技術のアドバイスをしています。

実践と振り返りを繰り返すことで、でんでん虫スタッフと先生方が共通のねらいを持った時間を積み重ねていき、子ども達への支援も充実していきます。

年に2~3回の限られた時間ではありますが、教育現場で必要性を感じていただき、事業として安定・充実していけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

(小田嶋幸子)



クリスマス会



昨年12月に中央支援学校にて開催しました

『第36回でんでん虫クリスマス会』

ご来場くださった多くのお客さまと、

出演者・ボランティア・法人内の他部署のご協力のお陰をもちまして大盛況に終了しました。

ステージにはたくさんの和太鼓やコンガなど楽器がずらっと並べられて最高のパフォーマンスと演奏を楽しむだけでなく、『♪SHAKE』の音楽に合わせて踊ったり、巨大風船送りをしたりと参加型プログラムもあり、会場全体が一体となって盛り上がりました。

毎年大好評、サンタさんからのプレゼントは、多摩川あゆ工房分場「みんなのお菓子屋さんレゼル」のクッキー（クリスマスバージョン！）と、夢花工房オーリーブ作品のおしゃれでかわいらしいストラップ！

また、会場中を盛大に飾ってくれたカラフルな風船たち、会が終わったあとは皆さんに“ささやかなプレゼント”としてお持ち帰りいただきました。

今回は日曜日ということもあってか、例年よりお客さまは減ったものの、「日曜日なら行ける！」と初めて足を運んでくださった方もいらっしゃいました。

リピーターの方はもちろん、まだクリスマス会を“未体験”の方も“ご無沙汰”の方もお気軽にご参加いただき、多くの方にでんでん虫クリスマス会を楽しんでいただけると嬉しいです

（久米純子）



▲ にぎやかな踊りと衣装で大盛り上がり！



ポプラの音楽会



平成29年度3月に第24回ポプラの音楽会を行いました。出演は17組47人、とても賑やかな会となりました。ちょっとオシャレをしたりグループでおそろいの衣装にしたりと、晴れの舞台をお互いに楽しんでいる様子も見られました。小中学生は少し緊張した面持ちもあり、控室でそわそわする出演者が仲間同士で「今日もよろしくね」と励まし合って出番をじっと待っていました。演奏が終わると真っ先に親御さんのところへ向かい、達成感いっぱい「どうだった？」とにこにこな表情で嬉しそうに話していました。

また、後日談ですが、最後の『ボルケーノ』の演奏を聴いて「あの曲かっこよかった！」「やってみたいな！」とご家庭で話が弾んだそうです。みんなで一緒に楽しんだ2時間、バルーンアートの七色のおんぷが今回のテーマソング『にじのむこうに』をととても可愛らしく彩った第24回のポプラの音楽会でした。

（八嶋佐紀子）



保育園でのリズム活動

今年度も、法人内の保育園での音楽活動の提供を行ないました。

保育園では、それぞれの園のニーズや他の保育の活動との兼ね合いにより、年齢ごとのクラスまたは3、4、5歳児が一緒に縦割りクラスでリズムを行なっています。縦割りクラスによる保育はなごみ保育園の特色の1つでもあります。

ある園では、クラスごとのリズムの他に、5人ほどの少人数グループによる通称「ひみつのリズム」という時間があります。先生方が集団生活の中での子ども達の様子を見ていて、少人数の中で目をかけてあげたいな、あとちょっと自信がついたらクラスの良いリーダーになってくれそうだな、この子、リズムの時間にいきいきしているから、得意なリズムで力を伸ばしてあげたいなと感じている子達に声をかけて行なっているのですが、参加する子どもたちは「ひみつ」という特別な響きにちょっと気持ちをくすぐられています。

1つのグループが3ヶ月ほどの期間で楽器活動に取り組み、終結として、ミニ発表会を行なって演奏を他の子ども達に聴いてもらったり、クラスごとのリズムの時間に、合奏のお手本として演奏を披露しています。

回を重ねるごとに、“みんなにはひみつの時間”を共有しているメンバーの仲間意識も芽生え、子ども達のモチベーションが高まってきます。一人一人の出す音や表情から、自信がついてきていることもよくわかります。

並行して行なっているクラスごとのリズムの時間での取り組み方も変化して、他の子の見本になるような力を発揮している様子も見られるようになります。

そして、リズム以外の生活でも変化が見られ、「ひみつのリズムをやる前は、なかなかお友だちの前で発信が出来なかったけど、今はみんなに自分から声をかけて、遊びの中心にいます」「ひみつのリズムで自信がついてから、他のことにも楽しんで取り組めるようになった」など、先生方からお聞きした成長の様子は、取り組む私たちにとってとても嬉しいごほうびになっています。

各園の先生方と話をしていると、子ども達一人一人を大切に思い、子どものために一生懸命向き合っていることがよく感じられます。

そのような先生方の思いに協力し、子ども達の成長に力添え出来るような時間を創っていきたいです。

（小田嶋幸子）

